

浪速区制100周年プレ企画

【第7回】塩草地域

戦前の塩草のまち

櫻原さん 実は今日、貝殻を持ってきました。平成9年に塩草3丁目にマンションを建てた際、地下15メートルのところから出たもので、ここが昔、海だったことを証明しています。



また、1843(天保14)年当時の地図を見ると、鵜(いたち)川という川が流れています。塩草地域は一面、葱(ねぎ)畑だったようです。

私は1938(昭和13)年の生まれですが、子どもの頃、近くに「桜川キネマ」という映画館がありましたし、市電の電車道(今のあみだ池筋)に面して芦原貯蓄銀行がありました。銀行の東側の通りは塩草では1番賑やかな通りで、赤手拭いのお稲荷さんに続いていました。

赤手拭稲荷神社は戦前、今の3倍くらいの大きさがありました。毎月、何日間か夜店が出て、とても賑やかでした。



1843(天保14)年当時の浪速区付近図(浪速区史より)

幡地さん 徳川家康が伊賀越えをして逃げる際、赤手拭稲荷神社に身を隠したと聞きました。

櫻原さん 徳川家康は、明光秀吉が謀反を起こした時に、京都から堺まで逃げる途中で、この辺を通ったのかも知れませんね。

電車道(今のあみだ池筋)を南に下ると芦原橋がありました。今、環状線の芦原橋駅を降りると、桜川寄りのところに自転車の駐輪場がありますが、ちょうどそこに橋があって、橋の下には鵜川が流れていました。

赤手拭稲荷神社

祭神は、豊受皇大神(とようけのおおかみ)ほか三神で、紅染の手拭を祠前に供えたことから「赤手拭稲荷」といわれるようになりました。1945(昭和20)年3月の空襲でご神体を残し焼失、現在の本殿は1948(昭和23)年に再建されました。

「たかばし」と蒸気機関車

区長 1889(明治22)年には湊町駅(のちのJR難波駅)ができ、大阪鉄道(後に国鉄に吸収)が柏原までの区間を開通しました。

櫻原さん 湊町駅から南へ伸びる線路の上に「たかばし」が東西に架かっていました。貨物駅をまたぐ歩道橋のようなものです。その辺りは踏切がなかったの、皆、それを使っていました。

私たちは「たかばし」の上から、蒸気機関車の先に係員が乗って、手に青色と赤色の旗を持って貨物の差し替え、入れ替えを行うのを見ていました。

中川さん 戦後ですが、私にも小さい頃は「たかばし」



【参加者】(後列左から)中川 尚さん、辻本 邦廣さん (前列左から)小川 進さん、幡多区長、櫻原 実男さん、幡地 郁雄さん、辻本 康子さん



1986(昭和61)年 塩草小学校新校舎竣工記念

の上から、汽車が煙を吐いて通るのをよく見ていました。汽車が煙を吐くと真っ黒な煙が出て、面白かったんです。

区長 湊町駅からは人も運んでいたんですね。

辻本(康)さん 1日に1本、湊町駅から「やまと」という東京行きの夜行列車が出ていました。母は毎週、金曜日の夜に「やまと」を利用していました。東京に姉が嫁いでまだ間もないから、心配でのおそぎに行っていたんですね(笑)。

塩草の偉人 司馬遼太郎

区長 浪速区が生んだ偉大な人物の1人に、司馬遼太郎さんがいます。

櫻原さん 塩草小学校の第2グラウンドの北側に福田薬局があり、その息子が司馬遼太郎さんで、塩草小学校の卒業生だと聞いています。

小川さん 今日は、上宮中学の時に書いた司馬さんの作文が見つかったという、2007(平成19)年に掲載された産経新聞の記事を持ってきました。

辻本(邦)さん 作文の作者の「福田定一」というのが司馬さんの本名ですね。

区長 記事には小学校についての記載はありませんが、浪速区で生まれたことや父親が薬局を営んでいたことが書かれています。

司馬遼太郎(しばりょうたろう)

1923(大正12)年生まれ。大阪外国語学校 蒙古語部(のち大阪外大、現大阪大学外国語学部)を卒業し、1960(昭和35)年、『梟の城』で直木賞を受賞。そのほか『竜馬がゆく』『国盗り物語』による菊池寛賞はじめ、多くの賞を受賞する。『坂の上の雲』『菜の花の沖』といった小説、『街道をゆく』『この国のかたち』など多数の作品がある。※参照 司馬遼太郎記念館HPより

旧制上宮中学の校友会雑誌に掲載された司馬遼太郎さんが13歳のときの作文「物干臺(ものほしだい)に立つて」には、「難波警察署」や「稲荷小学校」など、浪速区の自宅とみられる建物の物干し台から見た風景が描かれている。
※参照 2007(平成19)年7月28日産経経済新聞より

大きな被害をもたらした戦災と台風

区長 それでは次に、戦争中のことをお聞きしたいと思います。

櫻原さん 親父に聞いた話では戦時中、湊町駅の操車場の中にオーストリア人の捕虜が多くいたそうです。1945(昭和20)年3月13日の大空襲の1週間ほど前に、B29から「3月13日ごろに浪速区一帯で大空襲をするので避難しろ」という内容のピラが撒かれたそう

2025(令和7)年、浪速区は区制100周年を迎えます。その節目に先立ち、浪速区の歴史を区内11地域の皆さんと座談会で振り返る連載企画です。第7回では、塩草地域の皆さんに当時の思い出やエピソードなどを伺いました。

です。ピラはすべて回収されました。捕虜を管理していた監督が誰かわかりませんが、ピラを信じて捕虜を生駒へ避難させたので、捕虜は1人も死ななかつたそうです。もし今、そのピラを誰かが隠し持っていたら...

辻本(康)さん 鑑定団に出したら、面白いですね。

櫻原さん 私はその空襲の時、環状線の下に逃げました。今の東洋紙業に芦原国民学校があって、木造の校舎に焼夷弾が落ち、ものすごく綺麗に燃えるのを見ていました。ゴオーっと音がしたんですが、それは教室にある椅子と机が、教室の床が抜けて落ちる音でした。そうしたら火の粉がバアーと上がってね。見ている間にザッと校舎が落ちていきました。すごいなと思いました。

道端には焼死体が並んでいました。ムシロを被せていました。手や足が出ていて、それに雨が降って、子ども心に「地獄やな」と思いました。

区長 空襲では多くの方が亡くなり、家を失いました。浪速区は区域の約93%が焼け、人口も空襲前の4%にまで減少しました。戦後のジェーン台風でも、大きな被害がありました。

櫻原さん ジェーン台風は1950(昭和25)年9月3日にやってきました。その当時、今の難波中学校のグラウンドに木造の市営住宅が建ってしまっていてね。それが一瞬にして全部吹っ飛んでしまいました。その翌日が翌々日の新聞に「浪速区全滅」という見出しで、塩草小学校の屋上から撮った写真が大きく掲載されました。

ジェーン台風

1950(昭和25)年9月3日(日)の朝、近畿地方を縦断した大型の台風。風速35m/秒以上の暴雨が吹き、大阪府下で床上浸水45,406戸、床下浸水35,058戸、死傷者21,465人という大きな被害をもたらしました。これをきっかけに大阪の高潮対策事業が本格化しました。
※参照 「第4回大規模災害対策セミナー報告書 ジェーン台風から50年を考える～地域の安全と危機管理～」より



「全壊したナンバ元町市営住宅(浪速区塩草町)瓦屋根は動労宿泊所」 大阪市立図書館デジタルアーカイブより

今後の地域に寄せる思い

区長 戦後、浪速区でも戦災復興の土地区画整理や再開発を行い、塩草地域の様子も大きく変わったと思います。

幡地さん 昔は、八百屋や魚屋や本屋などの小さなお店がたくさんあって、そういうお店の人たちが子どもたちに声かけや見守りをしていました。でも、そういう店がなくなって、どんどんマンションが増えてきました。

櫻原さん よそから浪速区に来た人が1番感心するのは、道路が広いことです。昔は今の道路の半分でした。高い建物も建てられるようになりましたし、区画整理をしたことは正解だったと思います。

区長 マンションの建設で、塩草地域に住む人も増えました。皆さんは今後、どんな塩草地域にしていきたい

ですか。
中川さん 神社の夏祭りみんなで神輿を引っ張ったことは子どもの頃の楽しい思い出です。そういう伝統の良いところは大事にしていきたいです。

辻本(邦)さん 今は、学校から家に帰ってきている時間帯に、子どもたちの姿を外で全く見かけません。子どもたちの憩いの場、遊べる場所が欲しいと感じています。学年が違っても一緒に遊んで育っていく。そんな地域にしたいです。

小川さん 塩草地域は特にワンルームのマンションが多く、なかなか町会に入ってもらえないのが現状です。でも、皆さんが安心して暮らせるよう、子どもたちも高齢者の方も含めてきちっと見守り活動をして、住んで誇りに思える活力と魅力あふれる塩草にしていきたいと思っています。

塩草地域

●...昔あったもの

問合 区 総務課(企画調整) ☎ 6647-9683 ☎ 6633-8270

座談会全文はこちら



塩草地域年表

- 1889(明治22年) ● 大阪鉄道(現JR関西本線)湊町-柏原間開通
- 1907(明治40年) ● 難波第五尋常小学校(のちの塩草小学校)創立
- 1915(大正4年) ● 市電西道頓堀天王寺線(桜川2丁目-芦原橋-大町町-恵美須町-天王寺西門)開通
- 市電九条高津線(安治川2丁目-玉船橋-汐見橋-桜川2丁目-湊町駅前-千日前-上本町6丁目)開通
- 1934(昭和9年) ● 室戸台風襲来
- 1945(昭和20年) ● B29約90機が大阪地区を空襲する。終戦
- 1946(昭和21年) ● 塩草国民学校が元町国民学校に統一
- 1950(昭和25年) ● ジェーン台風襲来
- 1954(昭和29年) ● 塩草小学校として再開校。浪速公園開設
- 1959(昭和34年) ● なにわ筋開通
- 1962(昭和37年) ● 難波中学校が現在地に移転
- 1977(昭和52年) ● 浪速区民センター開館
- 1989(平成元年) ● JR湊町駅の移転工事完成
- 1991(平成3年) ● 戦災復興土地区画整理事業が完了(湊町工区)
- 1994(平成6年) ● JR湊町駅をJR難波駅に改称
- 1996(平成8年) ● 大阪シティエアターミナル(OCAT)開業
- 2002(平成14年) ● 湊町リバープレイスオープン
- 2014(平成26年) ● 立葉小学校閉校、塩草立葉小学校開校

浪速区制100周年へのご寄附をお願いします

令和7年4月1日に100周年を迎える浪速区を応援してください!

いただきましたご寄附は様々な事業に活用します!

100周年記念誌の発行

100周年記念式典の開催

100周年各種記念事業の実施 など

(特典) 寄附金額1万円以上で、記念誌へご寄附を掲載いたします! さらに寄附金額5万円以上の場合、上記特典に加えて、記念誌の贈呈と記念式典へご招待いたします!

寄附の申し込み方法など、詳しくは担当までお問い合わせください!!

問合 区 総務課 ☎ 6647-9625 ☎ 6633-8270 ☎ tj0001@city.osaka.lg.jp

詳しくはこちら

なにわマニア話 vol.7

塩草の四軒長屋で育った福田定一(司馬遼太郎)

司馬遼太郎(本名・福田定一)は大正12年(1923)8月7日、父・福田是定(薬剤師)、母・直枝の子として生まれ、西神田町879(現・塩草1丁目/浪速公園あたり)にあった四軒長屋の一角の福田薬局に住んでいました。その頃の塩草は長屋が立ち並び人口密集地で物売りなども毎日していたといわれています。船屋や下駄の齒入れ屋や風鈴屋、越後娘のワカメ売り、亡命ロシア人のパン売り、河内からは生きたヘビを首に巻いた強壯剤売りなども行き来していたとか。司馬遼太郎も近くの難波塩草尋常小学校(現・塩草立葉小学校)に通っていましたが、なかなかのワンプクぶりて難波八阪神社で賽銭泥棒をしたり、いつも竹棒をもって町内をうろついていたと地元の方の思い出話にあります(『司馬遼太郎とその時代』)。人間味溢れる下町でしたが、残念ながら大阪大空襲(1945年3月13日深夜から翌日未明)で灰塵に帰りました。

戦後に再建された塩草小学校 出典:『浪速区史』

案内人 むつさし 陸奥賢さん 観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者